
やまなし産保メールマガジン第63号

【URL】 <http://www.sanpo19.jp/>

平成26年1月9日

発行：山梨産業保健推進連絡事務所

目次

- 【1】年頭所感
- 【2】研修会のお知らせ
- 【3】講演会のお知らせ
- 【4】産業保健トピックス
- 【5】山梨県内の情報
- 【6】産業保健相談員コラム
- 【7】図書・研修用機器の貸出について
- 【8】東京医科大学病院・渡航者医療センターからアンケート調査のお願い

【1】年頭所感

山梨産業保健推進連絡事務所 代表 高橋 英尚

年末年始、ひとときの休暇を過ごされたことと存じます。

「一年の計は元旦にあり」

中国よりPM2.5（微小粒子状物質）が我が国に飛散して大気汚染が気になるどころです。

旧東ドイツは酸性雨によって森林が立ち枯れてしまったという事実もあり憂慮される昨今となりました。

「公害病」として有名な有機水銀による「水俣病」を発見した細川医師は企業が隠蔽した自らの動物実験の結果を病床の中陳述しました。

「人命は生産より優先する。そう企業に要望する。」と残されました。

「命」は自らが守らなければならないものであり、また「社会」がサポート（支援）しなければなりません。「思いやりをもって支えあう」ことです。

「こころの健康」と「からだの健康」において本年も山梨産業保健推進連絡事務所がお役に立つことが出来れば幸いです。

謹んで新年の慶賀を申し上げます。

【2】研修会のお知らせ

◇新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

当所における1月・2月・3月の研修のご案内をいたします。

※各研修に添付しておりますアドレスからホームページにアクセスして下さい。

【①衛生管理者レベルアップ研修 122～124】

★平成26年1月21日（火）午後2時～午後4時

「職場における救急処置」

講師 日本赤十字社山梨県支部

認定単位 認定産業医研修 生涯実地 3単位

内容 事業場等における事故防止、手当の基本、止血の仕方や三角巾の使い方、骨折の場合の固定方法等についての知識と技術を習得できます。

(1/21)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=523>

★平成26年2月18日（火）午後2時～午後4時

「職場における発達障害者の理解と対応」

講師 小石 誠二 (山梨県精神保健福祉センター)
認定単位 認定産業医研修 生涯専門 3単位
産業看護実力アップ研修 IV-3-(4) 1単位

内容 発達障害者の障害特性・職業的課題、就業支援に係るニーズ、事業主支援の基礎及び関係機関との連携の方策等について学んでいただきます。

(2/18)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=528>

★平成26年3月7日(金)午後2時～午後4時

「作業環境管理の簡素化」
講師 森 博幸 (労働衛生コンサルタント・産業保健特別相談員)
認定単位 認定産業医研修 生涯実地 3単位
産業看護実力アップ研修 IV-4-(4) 1単位

内容 作業環境の状況を把握しておくことは労働者の健康管理のための初歩的な原則であります。ここでは、いかにして簡素化を図り労働者の健康障害をもたらすことがないように適切に対応するか学んでいただけます。

(3/7)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=532>

【②職場のメンタルヘルス相談員のためのステップアップ研修(4回シリーズ)】

- 2 平成26年1月15日(水)午後2時～午後4時30分
- 3 平成26年2月12日(水)午後2時～午後4時30分
- 4 平成26年3月12日(水)午後2時～午後4時30分

講師 すげ臨床心理相談室所長 臨床心理士 菅 弘康
会場 山梨産業保健推進連絡事務所研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯実地 3単位
産業看護実力アップ認定研修 IV-3-(4) 4回受講で1単位

内容 相談者の本音に耳を傾ける「カウンセリングの考え方とスキル強化」、様々なケースによる「相談対応力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。

(1/15)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=522>

(2/12)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=527>

(3/12)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=533>

【③産業カウンセリング研修(4回シリーズ)】

- 2 平成26年1月24日(金)午後2時～午後4時30分
- 3 平成26年2月28日(金)午後2時～午後4時30分
- 4 平成26年3月14日(金)午後2時～午後4時30分

講師 エヌ心理研究所所長 産業カウンセラー 中村 幸枝
会場 山梨産業保健推進連絡事務所 研修室
認定単位 認定産業医研修 生涯専門 3単位
産業看護実力アップ認定研修 V-5-(4) 4回受講で1単位

内容 産業現場における様々な問題(メンタルヘルス他)について、カウンセリング(相談業務)を実際に行う場合を想定し、必要な知識と傾聴スキルを習得し実践的に学んでいただきます。

(1/24)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=524>

(2/28)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=530>

(3/14)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=534>

【④リラクセーションの理論と実践研修】

★リラクセーションの理論と実践

「ストレス状態から自己コントロールによってリラックス状態に移行させるための理論とテクニックを身につけ、メンタル不調者に役立てる。」

④ 平成26年1月29日（水）午後2時～午後4時

講師 山梨県立大学看護学部教授 百々 雅子
認定単位 認定産業医研修 生涯実地 3単位
産業看護実力アップ認定研修 IV-3-(2) 1単位（4回受講）

(1/29)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=525>

【⑤石綿関連疾患診断技術研修】

★「石綿関連疾患診断技術研修」

～呼吸器系の疾患を取り扱う医師等を対象に石綿関連疾患に係る適切な診断技術の向上及び労災補償上の取扱い留意事項の周知を図ることを目的としています。～

平成26年3月6日（木）午後3時～午後5時

講師 豊嶋 幹生（浜松労災病院呼吸器内科部長）
認定単位 産業医認定研修 生涯実地 2単位
産業看護実力アップ研修 III-1-(1) 1単位

(3/6)

<http://www.sanpo19.jp/modules/seminar/index.php?page=article&storyid=531>

【3】講演会のお知らせ

◇ 「連合山梨2014安全衛生研修会」

メンタルヘルス対策を推進する上で、労働者自身がストレスに気づき、これに対処するための知識、方法を身につけ、それを実施することが重要です。連合山梨と共催事業として「メンタルヘルス対策～ストレスへの気づき～」の研修会を開催します。

- 1 日時 平成26年1月22日（水）18時30分～20時30分
- 2 場所 甲府市総合市民会館3階大会議室
- 3 内容 メンタルヘルス対策～ストレスへの気づき～
- 4 講師 篠原 学 氏<医師>
(山梨大学医学部精神科講師/メンタルヘルス対策相談員)
- 5 申込 連合山梨 メール info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

◇ 「労働者セミナー」

職場でのハラスメントとメンタルヘルスの関係を理解して、ハラスメントを「しない」、「受けない」ポイントや職場でのコミュニケーションを考えるセミナーです。甲府市と共催。

- 1 日時 平成26年2月19日（水）18時30分～
 - 2 場所 甲府市役所本庁舎4階 大会議室
 - 3 内容 職場内のハラスメントとメンタルヘルスについて
 - 4 講師 菅 弘康 氏
(臨床心理士/山梨産業保健推進連絡事務所特別相談員)
 - 5 申込 甲府市産業部産業総室 労政課
FAX 055-227-8065
-

【4】産業保健トピックス

◇『労働基準法関係』～労務管理のポイント・手引き等～：厚生労働省
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/leaflet_kijun.html

◇『男女雇用機会均等法施行規則を改正する省令等を公布しました。』～間接差別となり得る措置の範囲の見直し等を行い、平成26年7月1日に施行～：厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000033232.html>

◇『自殺予防対策』～相談窓口、ガイドライン等～：厚生労働省
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/jisatsu/index.html

《審議会、検討会等》

平成25年12月6日（金）

「平成25年度第2回化学物質のリスク評価検討会（有害性評価小検討会）」
12月6日に「平成25年度第2回化学物質のリスク評価検討会（有害性評価小検討会）」が開催されました。

議題はがん原性試験結果の評価等についてでした。
（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課）

平成25年12月17日（火）

「第79回労働政策審議会安全衛生分科会」
12月17日に「第79回労働政策審議会安全衛生分科会」が開催されました。
議題は今後の労働安全衛生対策等についてでした。

（厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課）

平成25年12月18日（水）

「化学物質のリスク評価結果と改正特化則等に関する意見交換会」
12月18日に「化学物質のリスク評価結果と改正特化則等に関する意見交換会」
が開催されました。
この会では、現場で使用されている化学物質についてのリスク評価の考え方等について厚生労働省担当官と化学物質に係わる人々と意見交換を行いました。
（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課）

平成25年12月24日（火）

「第80回労働政策審議会安全衛生分科会」
12月24日に「第80回労働政策審議会安全衛生分科会」が開催されました。
議題は今後の労働安全衛生対策、新規化学物質の有害性の調査結果等についてでした。
（厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課）

《その他》

【平成24年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場】

厚生労働省は、平成25年12月10日に「平成24年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場」を公表しました。
これによると公表事業場数は1,049事業場で、うち新規は811事業場でした。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031628.html>

【平成24年度石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ（確定値）】

厚生労働省は、平成25年12月10日に「平成24年度石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ（確定値）」を公表しました。
これによると労災保険給付の請求・支給決定件数は前年度とほぼ同水準で推移したが、中皮腫の請求件数・支給決定件数が伸びたことにより特別遺族給付金の支給決定件数は大幅に増加したとしている。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031636.html>

- 首相官邸災害対策
<http://www.kantei.go.jp/saigai/>
- 内閣府防災情報
<http://www.bousai.go.jp/>
- 原子力規制委員会
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/index.html>
- 放射線医学総合研究所
<http://www.nirs.go.jp/index.shtml>
- 労働安全衛生総合研究所震災関連情報
<http://www.jniosh.go.jp/announce/shinsai/index.html>
- 国立精神・神経医療研究センター
http://www.ncnp.go.jp/mental_info/index.html
- こころの耳（東日本大震災こころのケア）
<http://kokoro.mhlw.go.jp/etc/info0322.html>

【5】山梨県内の情報

（山梨県）

- 労働相談は中小企業労働相談所（県民生活センター）へ
http://www.pref.yamanashi.jp/rosei-koy/80_005.html
- 山梨県内の微小粒子状物質（PM2.5）測定状況について
<http://www.pref.yamanashi.jp/taiki-sui/pm25setumei.html>
- 労働相談をお受けしています！山梨県労働委員会
<http://www.pref.yamanashi.jp/roudou-iin/roudousoudan.html>
- ノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行しています！
<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

（山梨労働局）

- 死亡災害が多発しています。
<http://yamanashi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/yamanashi-roudoukyoku/kenkouanzen/shiboutahatsuleaf2510.pdf>
- 労災精神障害専門調査員がご相談に応じます
山梨労働局では、セクシュアルハラスメントなど職場のストレスによる精神障害に関する労災保険の給付などについて相談を受けるため、「労災精神障害専門調査員」を配置しました。
費用は無料で、専門の臨床心理士が相談に応じます。
- ・日時 毎月第2水曜日と第4水曜日（閉庁日は除く）14時～17時
※相談日が変わる場合もあるため、相談を希望される場合は、事前に電話でお問い合わせください。
- ・問い合わせ 山梨労働局労働基準部労災補償課 055-225-2856
http://yamanashi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/madoguchi_annai/roudoukyoku/soudanmadoguchinogoannai/_100805.html
- 特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度
<http://www.kyuukaseido.jp/>

【6】産業保健相談員コラム

山梨県の高齢者平均自立期間について ～「健康長寿日本一」の座をキープ～
(産業保健相談員 山梨県立大学理事 小田切 陽一)

わが国では寿命の延伸によって、自立した生活を維持しながら生き抜くことがいよいよもって難しくなってきた。

介護保険の給付データから、高齢者の自立率を算出してみるとそのことがよくわかる。

男性の場合、65歳では97%、75歳でも94%と、自立した高齢者が大半を占めている。

女性でもこの数値は変わらない。

ところが後期高齢者になると男性では75歳で88%、80歳で78%と低下の兆しがみられ、85歳では62%まで低下してくる。

女性は平均寿命が長いので健康で自立していると誤解している人も多いが、このくらいの年齢になると男女差も表れ、女性では75歳で85%、80歳では68%まで自立率は低下して男性優位となる。

男性の場合、平均寿命の約80歳での自立率が78%と保たれているのに対して女性では、平均寿命の85歳まで生き延びると、自立率は46%まで低下する。

ちなみに85歳の男性の自立率は62%と女性より16%も高く、90歳以上の自立率は男性の38%に対して女性では22%と低い。

女性では余命の獲得が裏目に出ているといえるかもしれない。

これらの数値は平成22年の国勢調査を基に作成された生命表と介護給付実態調査から得られた受給率を基に算出しているもので、医療保険だけを受給している高齢者は除外されており、実際の人口当たりの自立率はこれよりも低いものとなる。

しかしながら、居宅や施設で介護を必要とする高齢者が激増する中、いかに介護を必要とせず、自立した生活を実現させてゆくことは国の社会保障負担を考慮してゆく上でも重要な課題であり、このような指標は意味がある。

ところで上の数値は全国のものであり、健康長寿の山梨県ではどうなっているのだろうか？

本県の高齢者自立率も、男女ともに75歳までは全国並みだが、80歳では男性が83%、女性が76%、85歳ではそれぞれ、69%と55%、90歳以上でも男性では47%、女性で26%と全国値を上回っていた。

従来、このような高齢者の自立率と生命表から算出される平均自立期間を「健康寿命」として評価してきた経緯もあるが、昨年、厚生労働省は新たに国民生活基礎調査の回答に基づき、「日常生活に支障のない期間」として健康寿命を定義し、都道府県別の値を公表した。

それによると山梨県は男性で全国第5位、女性で12位ということになっているが、健やか山梨21(二次)では高齢期の自立に焦点をあてた従来の健康寿命も「高齢者平均自立期間」として算出し、今回、山梨県は男女ともに、健康長寿日本一の座を維持していたことが示された。

別の研究からは、中年期からの生活習慣病対策や地域活動や趣味を通じた人や社会との繋がりが高齢期の自立に結びついていることも証明されている。

とくに地域との結びつきが強い郷土の良さを健康長寿の基盤として維持してゆくには、定年前の労働者への働きかけがとても大切で、産業保健の大きな役割だともいえる。

健康指導に加えて、生活の中での時間の使い方についても、趣味や運動、人付き合いなど、社会と結び付きのある生活行動がとれるように、定年前から意識して習慣化しておくことをアドバイスしておきたい。

【7】図書・研修用機器の貸出について

当事務所では、産業保健をはじめとした図書・研修用機器等について無料で貸出を行っています。

初めてご利用になる方は利用者登録が必要になりますので、身分証明書等をご持参の上、当事務所で手続きをお願いします。

所蔵リスト・検索等については下記のアドレスからアクセスしてください。
http://www.sanpo19.jp/modules/rental/index.php?content_id=1

※ビデオ・DVDにつきましては、平成21年12月17日をもって貸出を終了いたしました。当事務所内での視聴は可能ですので、お気軽にお越しください。

【8】東京医科大学病院・渡航者医療センターからアンケート調査のお願い

『海外派遣者の健康管理に関するアンケート調査』

この調査結果は、企業における海外派遣者の健康管理を推進するための基礎資料にさせていただきますとともに、医療関係の学会などで発表させていただく予定です。
なお、本調査は無記名であり、記入された企業情報が公表されることはありません。
よろしくご協力をお願いいたします。

<http://www.bis-heal.org/enquete/index.html>

=====
=====
配信の解除を希望される方は下記のアドレスからご連絡ください。
yamanashi@sanpo19.jp

【発行】独立行政法人 労働者健康福祉機構
山梨産業保健推進連絡事務所
【住所】〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-32-11 山梨県医師会館 4階
【TEL】055(220)7020 【FAX】055(220)7021
【E-mail】 yamanashi@sanpo19.jp 【URL】 <http://www.sanpo19.jp/>
